

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	洋上風力発電実証事業		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23～27年度		担当課室	地球温暖化対策課		調整官	和田篤也	
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ 地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第3項		関係する計画、通知等	エネルギー基本計画、地球温暖化対策基本法案 新成長戦略、京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	洋上風力発電は、我が国が排他的経済水域世界第6位の海洋国であり、洋上には陸上に比べて大きな風力発電の導入ポテンシャルを有していること、さらに洋上は風速が強く、その変動が少なく安定かつ効率的な発電が見込まれるといったことから、特に有望な再生可能エネルギーとしてその実用化が期待されている。本事業では洋上風力発電のうち、水深の深い海域に設置可能な浮体式洋上風力発電について実証試験を実施し、実用化に向けて必要な知見を得ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	長崎県五島市杵島沖において、以下の年次計画の下、2MW級の浮体式洋上風力発電実証機1基を設置・運転する実証事業を実施し、平成28年度(2016年度)の実用化に向けて必要な知見を得る。平成24年度事業においては、実証機の建造を行うとともに、100kW風車を搭載した小規模試験機を実海域に設置し、環境影響や安全性に関する情報を収集し、実証機の建造・制御に反映する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海象等環境調査(平成23年度～平成27年度)</li> <li>・試験機及び実証機の詳細設計・建造(平成23年度～平成24年度)</li> <li>・試験機及び実証機の実海域設置・運転(平成24年度～平成27年度)</li> <li>・事業性等の評価(平成27年度)</li> </ul>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	582	3,048	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	582	3,048	
	執行額		-	-	-	-	-	
執行率(%)		-	-	-	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (32年度)
	浮体式洋上風力発電システムの実用化によるCO2の削減		成果実績	t-CO2	-	-	-	17,000
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成27年までに実証機を1基設置・運転するので、各年度の活動指標は設定困難。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	( - )	( - )
単位当たり コスト	- (円/ - )		算出根拠	定量的な活動指標を示せないため、算出困難。				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	二酸化炭素排出抑制 対策事業等委託費	582	3,048	実証機を建造するとともに、100kW風車を搭載した小規模試験機を実海域に設置し、環境影響や安全性に関する情報の収集を行うことに伴う事業費の増。				
	計	582	3,048					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>執行面において特段の課題は発生していない。また、平成32年度の浮体式洋上風力発電の導入見込み量を成果目標として掲げている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>事業の有益性から要求を認めるが、必要最低限度の要求額となるよう精査すること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)(単  
位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					